

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 新技術の活用 】

残存型枠の活用によりコスト縮減

工事名： 下秋生堰堤(その2)工事

概要： (従来)

普通型枠

(新)

残存型枠

効果

型枠の取外しが不要で、施工が容易になる。

また、取外さないために建設廃材の軽減が図れる。

型枠の組立てが内側から出来るので作業足場が不要となり、施工コストが縮減できる。

直接工事費を46.7百万円から45.7百万円に縮減。

(縮減額 1.0百万円、縮減率 約2.1%)

(普通型枠使用時イメージ)

型枠

足場



(残存型枠使用時イメージ)

残存型枠

